

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆10月5～6日 救助技術研修・講習会(御在所岳) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

読図講習会参加のみなさん
 大高緑地公園



令和元年度指導員総会開く

指導員制度改定・夏山リーダー

愛知岳連指導員総会が6月29日(土)刈谷アイリスホールで16時から行われた。

はじめに木田指導委員長より、岳連の指導員の現状について、未更新の方が多数あり早急に手続きをしてもらいたい。また新スポーツ指導員制度、夏山リーダー等について挨拶を兼ね述べられた。

つづいて、昨年度の活動状況を次のように報告された。

1. 第1回登山勉強会(5/22県スポ)懸垂降下6名、(5/29豊橋)11名

2. 全国指導委員長会議(6/1～2東京)新スポーツ指導員制度(例・AC指導員↓コーチ2、AC上級指導員↓コーチ3など)今年度事業(8/15～18夏山リーダー講習会、那須甲子青少年自然の家、10/26～27登山技術研修会、大阪、2/15～16水雪技術講習会、大山、3/14～15夏山リーダー講習会、神奈川)

3. 確保技術研修・講習会(6/22～23鞍ヶ池)31名

4. 指導員総会(6/29刈谷アイリスホール)12名

5. SC確保講習会(8/24)

岡崎)17名スポーツクライミングの基礎

6. 第2回登山勉強会(9/25豊橋)搬送7名、(9/26県スポ)7名

7. 指導員集会(1/11刈谷アイリスホール)8名

8. 第3回勉強会(2/11県スポ)ビーコン搜索6名、(2/18豊橋)11名

9. 冬山研修・講習会(3/9～10大日ヶ岳)30名
 次に本年度の事業計画は次のとおりです。

▽確保技術研修・講習会(6/22～23鞍ヶ池)▽指導員総会(6/29刈谷アイリスホール)▽気象遭難対策講習会(7/9県スポ)▽SC確保講習会(8/24岡崎)▽少年少女登山教室(8/18鈴鹿)

▽高体連夏期大会(8/18)▽県民の森・海老沢▽県民登山教室・机上(9/10県スポ)▽県民登山教室・実践下見(9/14)▽第2回登山勉強会(9/18県スポ、9/25豊橋)▽救助技術研修・講習会(10/5～6御在所岳)▽県民登山教室実践(10/12)

▽遭難を考える講演会(11/29県スポ)▽冬山遭難会議・気象予報(12/17県スポ)▽

指導員集会(1/11刈谷)▽
第3回勉強会(2/11県スボ、
2/18豊橋▽冬山研修・講習
会(2/29)3/1大日ヶ岳
▽愛知山岳マラソン(3/7
猿投山)
現在、講習会等に出ていた
だっている指導員の顔ぶれは
いつも同じなので、他の人に

も積極的に参加を呼びかけて
いく。夏山リーダー資格制度
の講習は、すでに全国ではじ
まっているが、愛知県は秋頃
に準備中である。また本年度
も指導員がかかわる行事が多
くあり、参加、お手伝いをお
願いたい。などが話し合わ
れ17時45分終了した。

池ヶ原湿原自然観察会

～自然を知ることが自然保護の第一歩～

5月18日(土) 19日(日)、
第47回自然観察会を飛騨市宮
川町にある池ヶ原湿原と乗鞍
青少年交流の家周辺で実施、
5団体から42人が参加した。

初日は池ヶ原湿原に直接集
合し、その日は乗鞍青少年交
流の家に宿泊。2日目に山菜
の収穫、観察、親睦を兼ねた
昼食会という1泊2日の日程
で行い、講師は小野木三郎先

生に昨年に続きお願いした。

初日の池ヶ原湿原は水芭蕉
のピークは過ぎていたものの
リュウキンカが咲き誇ってい
た。午後はニコイの滝を全員
で見学した後、2時間かけて
乗鞍青少年交流の家に移動、
夕食後に小野木先生のパワ
ーポイントを使った講義を1時
間半受け、自然保護に対する
意識をさらに深めることがで
きた。

2日目は、自然観察を兼ね
た山菜の収穫。グループごと
にそれぞれ出発。1キロほど
山を下った斜面が芽吹き、ピ
ーク、2時間足らずで十分収
穫することができた。みんな
が持ち寄った山菜は全部で12
種類にもなり、分類した山菜
を調理し、美味しい料理にみ
んな満足した一日だった。
(栗木 洋明)

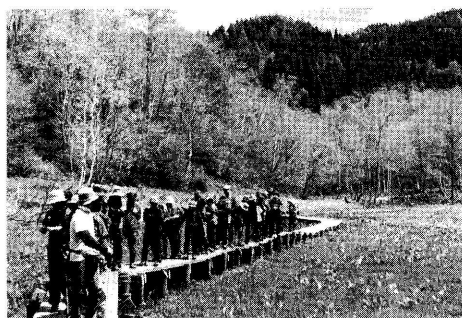
自然観察会に参加して

やまびこ山想会

後藤 検次

池ヶ原湿原の広大な湿原に
咲くミズバショウ、リュウキ
ンカなど春を代表する花々を
観察し、ぜひ散策したいと思
って参加しました。

当日は快晴の下、名古屋を
6時に出発し湿原に9時半に



着きました。ここで各山岳会
のみなさんと合流し、小野木
先生の挨拶があつて、いよいよ
湿原の散策となった。湿原
に入ると一面の花々にみな感
動し、写真を撮ったり先生の
解説に頷いたり、本当に楽し
い有意義な散策でした。その
場で昼食後に地図にない幻の
滝、ニコイの滝を見に行き、
想像以上の水量と落差が見事
ですごく感動しました。

2日目も快晴、今日は交流
の家付近での山菜採り。はじ
めは山菜がなく気乗りしませ
んでしたが、少しづつワラビ、
コシアブラ、タラの芽が採れ
だすといつの間にか夢中にな
り、思った以上の収穫となり
記念撮影してから天ぷら料理
にしました。屋外で食べる新
鮮な山菜は風味とほろ苦さが

あつて、日頃あまり食べるこ
とのない私には大満足でした。
今回の行事は感動の連続で
した。快晴であつたこと、池
ヶ原湿原の素晴らしい景色、自然
の美しさを感じた満足のいく
山行でした。

充実した満足の2日間

岩倉山岳会

吉田美代子

東海の尾瀬と呼ばれている
池ヶ原湿原は、広大な湿原で
木道が整備され、水芭蕉やリ
ュウキンカが咲き誇り、新緑
とのコントラストが美しく、
川にはイワナの姿も。小野木
先生の熱弁にも心をとりわれ
中身の濃い観察会に満足でし
た。

昼食後、各グループの車で
ニコイの滝に立ち寄り、宿泊
先の交流の家に16時集合。入
室説明のあと部屋割り、17時

から5団体合同の「夕べの集
い」での国歌斉唱には感動し
ました。バイキングの夕食、
そして入浴を終え、19時から
研修室で小野木先生の講演会
「山を楽しむに学ぶ」プロジ
ェクターを見ながら言葉遊び
とダジャレの90分間、切れの
良い声にみんな引き込まれて
いました。

19日は5団体での「朝の集
い」。9時からグループに分
かれ、林道、道路わきでの山
菜収穫活動。11時にキャンプ
場を集まり、タラの芽、コシ
アブラ、ゼンマイ、イタドリ
など多くの山菜を観察して仕
分けをし、おひたし、天ぷら
にして頂きました。あまりの
美味しさに争奪戦になり、揚
げてでも揚げても収拾のつか
ない勢いにビックリしました。
充実した2日間となり、皆
様との交流ができ、参加でき
たことに感謝します。

初心者のための読図講習会

「コンパスの正しい使い方」

初心者を対象にした読図講
習会が、5月25日(土)大高緑
地公園で9時から行われ、会
員・一般13人、講師、役員7
人が参加した。

当日は、全国的に5月とは
思えない暑さになり、炎天下

の中での講習となったが、参
加者の熱心な態度に講師も真
剣に指導に当たった。

講習内容は、基礎的なコン
パスの使い方から、森の中の
目標物をグループ別に探し当
てるまでの行程で、全員が納



得できるまでレッスンが続けられた。

講習は12時に終了し、参加者からそれぞれ質問があり、河合講師の講評で締められ、次回の猿投山での日程、内容等が通知され散会した。

〔河合講師談〕今年でコンパスの使い方に特化した講習会も8回目になりました。これは、コンパスを持つていくけど、山で使ったことがないといわれる登山者が多いことから、講習会に取り入れたものです。たった3時間の講習会ですが、コンパスの使い方が分かったと参加者の方から毎年、好評をいただいています。

この講習会のカギは、三角形、四角形の「コンパス操作の練習(コンパス1, 2, 3) (豊川山岳会HPに掲載)」図形を使った練習になります。

この練習は、自分のスタート位置に目印を置き、三角形にコンパスを使って歩き、元の位置に戻る練習です。自分で正しい使い方ができているかわかるだけでなく、単純に元の位置に戻れると楽しいと、参加者の方は言われます。また、大高緑地公園の林の中にオリエンテーリングのポストをあらかじめ設置しているのを見つけた宝探しも講習内容に入れてあります。ほんのちよつとの林ですが、ポストの設置場所があらかじめ見えていないので、コンパスを頼りに歩くことは、自分のコンパスの使い方を信じることもつながります。

次回6月8日(土)の猿投山では、地形図の情報量の多さや地図の楽しみ方を伝えられたいと思います。

講習会に参加して

実践的講習に感激!

ブラザー工業山岳部

森 恵理

季節を2〜3か月も先取りした暑さの中、読図講習会に参加いたしました。

机上講習会で何度かコンパスの扱いや地図の読み方を教わってはおりましたが、実際

印象に残った私の登山

23

初の海外遠征登山 アイランドピーク

JAC東海支部青年部

鎌倉 源助

学生時代に登山を初めて2年7ヶ月、冬山だけで数える1年に満たない。そんな自分がヒマラヤへ遠征に行く。「自分の山」に登りたい気持ちどこから来るのかを知りたくて、2012年10月、一も二もなく高橋隊長の遠征の誘いに乗る。トレッキング合宿で厳冬の御嶽、仙丈ヶ岳、硫黄岳と登ったが、遠征までに実力が間に合うか不安だった。

チュクンから二時間ほどでアイランドピーク(6189m)の全貌が見えてくる。ベースキャンプ入りは2013年2月28日。翌日はベースキャンプから500m上げた5600m地点にアタックキャンプの設営作業へ向かった。しかし、隊員のほとんどが高所で体調が悪く、4時間かけて急登をゆつくり歩く。ベースではコックの美味しいダルバートを食べ翌日に備える。

エルバを含む隊員5人は、先行し氷河の偵察へ向かう。隊長と私と新人2人は、一時間後にベースを出て荷揚げ時と同様に4時間かけアタックキャンプへ。

3月3日、8人全員でアタックキャンプを出る。昨日張ったフィックスロープを頼りに、クレバスの間に架かる氷の橋を一人ずつ渡っていく。空が紺色から深い青へと移ってきた頃、山頂が見えてきた。『できるだけ自前の装備で登りたい。』その思いで、進むも、雪質は情報とは異なりとてもスノーバーが刺さる柔らかさではなく、アイススクリューは全て用いた。息が苦しいが『登りきろう。』そのことしか頭になかった。ユマールで登ること2時間半、稜線に出る。8414mのローツェの南壁が一望できる。残すところ150m。先に山頂に立っている先輩たちの「ガンバー!」の声を頼りに力を振り出し、ついに山頂に着く。初体験の達成感で満たされ、ヒマラヤの景色を目に焼付け、11時40分、8人全員登頂する。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

にフィールドでこれ程みっちりするのは初めてでした。最初、三角形のそれぞれの辺と角度をコンパスに読み込み、歩数を測って元の場所に戻れたときは「ああ、こういうことか!」と感激しました。講師の皆様が適宜アドバイスを下さり「歩幅は小さい方が傾斜の影響を小さくできる。」「胸の前でコンパスを持つときは指でつまむのではなく掌でしっかりと固定する。」など基本も教えて頂きました。班別行動では参加者が交代にトップを務め、コンパスと地図を頼りに敷をかき分け、目標となるポストを探すとい

う身近な公園とは思えない実践的な講習。地図に示されている尾根や谷、構造物と周りの様子とを見比べコンパスの指し示す方向を信じ進むも、ごく小さな地図上の谷を見落とし、もう一つ向こうの谷にそのまま進めばゴールだったのにたどり着けなかった時は、これが実際の山ならかなり焦っただろうと怖くもなりました。地形をよく見て地図と照らし合わせ、コンパスを信じて。今後の山行にぜひ活かしていきたいと思います。次は友人も誘い参加したいと思っています。

日山協遭対委員長会議・研修会 講習会事故の法的責任!

日山協遭難対策委員長会議研修会が6月29日(土)30日(日)東京晴海「海員会館」で行われ、31人が出席する。

第一日目は挨拶の後、平成30年度は遭難者数3129人と20年間右肩上がり傾向が続いており「ストップ・ザ1000」と山から遭難事故を減らそう!キャンペーンを展開する。

また「夏山リーダーについて」「講習会における事故事例」「講習会における事故の

法的責任」について講義があり、研究討議「講習会における問題点」について、4グループに分かれて検討し発表。その後、夕食・情報交換を行った。

第二日目、18年度報告、19年度計画、会計報告があり、共済加入者は54、918人と前年比686人減。続いてUIAA報告、第16回山岳遭難事故調査で登山者のピーク年齢が70歳となったが、交通事故と同じで、注意力、判断

力、バランス感覚等の低下があると報告があった。最後に都道府県岳連から報告があり、質疑応答がかわさ

れて終わった。(高橋 優)



早月尾根から剱岳 Ⅱ 名古屋山岳会 Ⅱ

・日時 5月2日、3日
・メンバー 田中悠太(35)、太田陽子(37)、金原太志(33)
・コース 第1日 馬場島駐車場→登山口→早月小屋
第2日 早月小屋→カニノハサミ→懸垂地点→早月小屋→登山口
▲2日朝、馬場島はまだ曇り空で雨が降っていました。支度をし7時20分に出発。樹林帯を少し歩く平坦な雪上歩きになり、所々にシュルンドがあり、松尾平を越え、徐々

に急登に変わり汗ばんできました。そして赤谷尾根、小窓尾根の眺望が広がり好天模様、幸先の良いスタートとなりました。昼過ぎに早月小屋のテント場に到着し、

春山の強い日差しの下、テントを設営し水作りをしてしばしのんびり過ごしました。目指す頂への視界は良好、いよいよ明日の頂上アタックに向けて俄然わくわくしました。3日、3時起床、迎りがまだ暗いなか4時半に出発しました。1時間ほどしたら朝日が上がってきて染まる岩稜はとて

とても綺麗でした。ほどなくすると急傾斜の尾根が現れ、慎重にトラバースをしました。雪は早朝でしっかり締まっていたアイゼン、ピッケルがよく効きました。次に急な雪壁を丁寧にタガーポジションで登り、カニノハサミでの険しい岩場を下降して、いよいよ最後のカチカチに凍ったルンゼを登りました。そして9時にやっと剱岳の頂上に無事到達できました。

私は、昨年6月入会の新入ですが、今山行は一年の集大成には大変有意義なものとなりました。何よりも美しい雪の山脈を頂上から一望でき、先輩方と喜ぶのを共有できたことは、一生忘れられない思い出となりました。

(記・金原 太志)

安心して選べる三河地区
のPROショップ
JR刈谷駅前
穂高
〒448-0825
刈谷市神明町6-408
TEL 0566 (23) 8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

ビギナーからエキスパートまで

Renopoint
<http://www.renpoint.jp>
Original Wear & Goods
オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。
特許出願 GLASS PERCH (グラスパーチ)
株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renpoint.jp

112日間で確保技術講習会実施!! 確実な技術を身につけよう!

確保技術講習会が6月22、23日の2日間、豊田市・鞍ヶ池公園で行われました。心配された天候もまずまずの日となり、初級コース11人、上級コース15人、指導員12人の38人が参加しました。

一日目の講習は、9時から肩絡みでの制動確保の展示からはじまり、各班ごとに分かれて講習が進められました。初級では装備品の説明、ハーネスの正しい装着方法、支点の構築、ビレー方法、懸垂下降など。上級はアンカーをメインロープでの取り方、支点の取り方、懸垂下降などを行い16時終了し、本日の宿泊先「龍溪院」に向かいました。

18時から参加者の交流会となり、岩瀬氏のヒマラヤ山行の報告を聞いたり、意見交換をしながら楽しい時間を過ごしました。また、外では螢も見る事ができました。

二日目は、初級はセカンドのビレーで安全な下ろし方、自己脱出などを行い、上級は自己脱出、カムを使ってアンカー、支点の取り方、登り返しなどを行い、指導者、受講者が互いにコミュニケーションを計りながら終わりました。

(多田 純一)



講習会に参加して

イノアック山岳会
植田 省司

知って得する技術です。普段あまり岩はやらない方ですが、基本技術を習得したく今回初級に参加し2日間講習を受けました。

講習は「とりあえず聞いてやってみただけ」で2日間が終わってしまい、すぐに忘れてしまいうそうです。なので忘れてしまう前に、反射的に体が動くところまで身につけるのが今回の講習と考え反復もしていきます。

講習の内容はクライミング

だけでなく、登山の様々な場面で応用が効き適応範囲は広かったです。

講師の方々も経験豊富で、いろんな引出しを持っておられ、過去事例に基づく工夫・改善・重要ポイントや最近のトレンド情報まで多岐にわたるお話を聞かせてもらえたのも良い経験でした

学んだ技術で安全登山!

大山山岳会

伊藤 健

今回、確保講習上級に2日間初めて参加しました。私は、まだまだ技術も経験

気象遭難対策講習会

山の気象を把握し安全登山

山の遭難事故をなくそうと始められた「気象遭難対策講習会」が、7月9日(火)県スポーツ会館で午後6時30分から行われ22人(会員14人、一般8人)が出席した。

初めに講師・大矢康裕氏の自己紹介とWT活動から始まり「気象情報の活用の実演」「過去の気象遭難事例に学ぶ」「事故を防ぐための行動シミュレーション」「夏の気象予想」の順に講義が行われた。登山に出掛ける時は、天気

も少なく、遠慮気味に行動しておりました。

講習が進むにつれ、指導者の方々、また一緒のグループになった方々からの熱心な指導を受け、たくさん技術を学ぶ事ができました。これからは基本から復習して、反復練習したいと思います。

山岳会に入ってから数年がたちますが、このような講習会に参加して、確実な技術を学ぶ事は非常に大切だと改めて思いました。

この講習会で得た技術をこれから山行に生かし、安全登山を心がけていきたいと思っています。

予報は現地の気象情報を3日後まで予測し、予報文をしっかり読んでおく。

山は平地より早く天気が崩れ回復も遅れる。平地と山の天気は違う。平地で晴れていても、山で大荒れということもある。春や秋は、この違いが大きい時期のため、気象遭難事故が多い。山の天気の回復が遅いことも知っておく。2009年のトムラウシの遭難事故もそのような状況で起きた。また、

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎ 0532-26-3737

MONTAÑA

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎ 0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

平地よりも山では雷が発生しやすい。雷に対して速やかに対処しよう。

次に「事故を防ぐための行動シミュレーション」では、3班に分かれて、大崩山山系木山内岳で起きた単独行の遭難事故について、それぞれの班で検討し、その結果を発表した。

「夏山の気象予報」は、7月19日頃までの東・西日本は梅雨前線の影響で多雨。7月20日頃に梅雨明けの見込み。その後は地上から上空まで高気圧が強まり猛暑かも。また8月に入ると台風が発生しやすくなる。

大雨が続くと登山道が荒れている可能性があり、特に入山者が少なく山小屋もないルートは要注意。入山前によく状況を確認しておくこと。更

講習会を受講して

やまびこ山想会

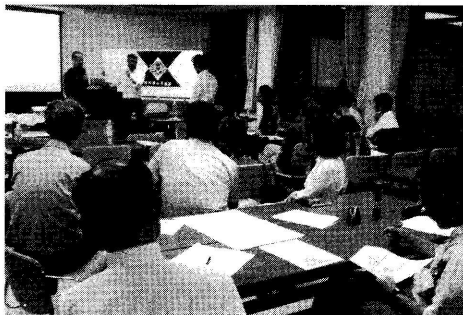
戸田 俊久

盛り沢山の講習の中で特に印象に残ったのは、木山内岳での遭難事故についてのグループ討議である。昨年の講習会では悪天候下における落雷事故の事例であったが、今回は天気が回復した状況における遭難である。直前まで降っていた雨の影響で道が突然崩落し、崖に落下して大怪我を

に雷を回避するためには「早出早着」を心掛ける。

今回も雪崩の発生やヘリによる救助の現場など映像を見ながら多くの事を学び、8時50分終了した。

(岩瀬 幹生)



負ったというもの。

天気が回復すれば手放して登山に行きがちであるが、前日までの天候により山の状況がどう変化しているか(滑る、崩れる、渡渉困難など)についても考慮し、早めに危険を察知し回避できるよう心掛けた。

今回の事例で救出までの2日間と予想した怪我の応急手当や防寒対策など、遭難者の冷静な対処が素晴らしいと思った。

常任理事会

7月2日(火) OMCビル

- 出席者 安藤会長、高橋副会長、北村理事、岩瀬副理事、高木、栗木、多田、木田、木田(陽)、倉、星各常任理事、中平等顧問
- 報告事項
1. 日山協理事会 (6/16 東京)
 2. 高体連・東海総体 (6/21、23 静岡)
 3. 確保技術研修会・講習会 (6/22、23 豊田・鞍ヶ池)
 4. 全国遭対委員長会議 (6/30 東京) 高橋
 5. 指導員総会 (6/29 刈谷) 木田
 6. その他
 7. 審議・お知らせ事項
 8. 全国山岳遭難対策協議会 (7/5 文科省) 高橋
 9. 気象遭難対策講習会 (7/9 県スポ)
 10. 東海ブロック大会 (7/27、28 岐阜・三重) 倉
 11. 東海四県正副会長、理事長会議 (7/27 三重)
 12. 全国高等学校登山大会 (8/2、6 宮崎)
 13. 高等学校登山指導者講習会 (8/7、9 登山研修所)
 14. 少年少女登山教室 (8/18 鈴鹿)
 15. 高体連夏期大会 (8/18、20 県民の森・海老沢)
 16. SCC 確保講習会 (8/24 岡崎) 倉
 17. 山岳レスキュー講習会・西部地区 (9/6、8 富山)
 18. 県民登山教室・机上 (9/10 県スポ) 岩瀬

編集後記



5月31日付の新聞で、エベレスト山頂に向かう登山者が長蛇の列をなしている写真を見て驚いた。それほど8千米峰は容易なのか。いつになれば頂上に着けるのか! 時間待ちに体調は大丈夫か! 気候が急変したら! 写真を見ていて心配はつきないのだが……。すでに今シーズンには11人が死亡しているという。

春から夏にかけて岳連行事が多くあり、熱心な岳人が参加した。その内容を感想文として寄稿してくれて紙面が賑わった。みなさんの活躍を期待します。

12. 県民登山教室・実践下見 (9/14 御在所・鎌) 岩瀬
13. 第21回 Jr オリンピック (9/14、16 富山)
14. 第2回登山勉強会 (9/18 県スポ、9/25 豊橋)
15. 全国登山大会 (9/28、30 岐阜)
16. 第74回茨城国体 (10/4、6 茨城) 倉
17. 救助技術研修・講習会 (10/5、6 御在所)
18. 県民登山教室実践 (10/12 御在所・鎌) 岩瀬
19. 「遭難を考える」講演会 (11/29 県スポ)
20. その他、法人化について

月日	内容
9. 3	常任理事会 (OMCビル)
9.10	県民登山教室・机上 (県スポーツ会館)
9.18	第2回勉強会 (県スポーツ会館)
9.25	〃 (豊橋)
10. 1	常任理事会 (OMCビル)
10. 4~ 6	第74回茨城ゆめ国体
10. 5~ 6	救助技術研修・講習会 (御在所岳)
10.12	県民登山教室 (御在所岳・鎌ヶ岳)
10.19	第48回自然観察会 (タンナカ高原)
10.22	第3回理事会 (県スポーツ会館)

◆ 9・10月スケジュール



観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツア サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社

まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい

個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-23-2 第3千禧ビル 3階

FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com

ホームページ http://www.alpine-tour.com